

# "Another Vision Band"

望月慎一郎 piano  
 橋爪亮督 sax  
 落合康介 contrabass

※マスクの着用を必ずお願いいたします。  
 ※ご入場の際、備え付け、又はご持参の消毒液にて手を消毒して下さい。

2021 02月07日(日)

開場 14:30

開演 15:00

(2ステージ入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC=3700円 +2drinks order

CAFE **BEULMANS**

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、  
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を  
ご記載下さい。



## 橋爪亮督

1970年生まれ。岡山大学在学中20歳の時にポストン・パークリー音楽大学から奨学金を受け渡米。1996年同校 Jazz 作曲科卒業。同年初のリーダー作となる「And Then You Heard Tales (HAO Record 428)」をアメリカ国内でリリース。翌年2枚目のリーダー作「In A Stranger's Hand (HAO Record 429)」をリリース。1997年帰国。2006年 POLYSTAR JAZZ LIBRARY より国内初となるリーダー作「WORDLESS」(P.J.L. MTCJ-3031)をリリース。2008年 BounDEE JAZZ LIBRARY より国内2作目となる「AS WE BREATHE」(B.J.L. DDCJ-7004)をリリース。2009年 Grapes Record より国内初のライブ録音となる「Needful Things」(GPS-1206)をリリース。2012年 tactilesound records より「ACOUSTIC FLUID」(TS001)リリース。2013年 Apollo Sounds よりグループとしては初のライブ盤「Visible/Invisible」(APLS-1304)をリリース。2014年続編となる「SIDE TWO」(APLS-1410)をリリース。現在は全曲オリジナルによる自身のグループを中心に新宿ピットインを始め首都圏ライブハウス等で活動中。2017年「incomplete voices」をリリース。

## 望月慎一郎

1980年、静岡県生まれ。幼少から音楽に触れ、6歳で曲を書きはじめた。13歳の頃には海外でも自作曲を披露し、既に作曲は日常のものとなっていくなかでジャズに出会い、以降は独学で研究を重ねている。尊敬する宇宙飛行士らの影響を受けてエンジニアへの憧れもあったため音楽大学ではなく工学部へ進学し周囲を驚愕させたが、在籍時は放射線管理区域で実験を繰り返す毎日を送りながらも音楽創作活動を継続しヤマハ講師グレードも取得、音楽研究を片時も忘れなかった。現在は長野県で半導体・電子部品等の開発技術者を生業としながら、欧州ジャズに近い演奏スタイルを取り入れ、独自の方法論を研究し自作曲の創作活動を精力的に続けている。2017年、ピアノトリオによる大作アルバム「Visionary」(SONG X 047)をリリース。2018年、橋爪亮督(sax)をフロントに向かえた「Another Vision」(SONG X 054)をリリース。

## 落合康介

神奈川県鎌倉市生まれ、千葉県袖ヶ浦市育ち。幼少よりピアノ、親戚のジャズピアニスト中山静雄の勧めでコントラバスをはじめ、ジャズ研で練習に励む。またネルグイ氏の馬頭琴の音色に衝撃をうけ馬頭琴をはじめめる。自己のリーダーバンド林栄—as かみむら泰—ts 古和靖明 g 石田衛 pf 本田珠也 ds との「ありがとうオーネットコールマン」また、物音を使ったジャムセッション「縄もんセッション」を主催。その他都内を中心に活動中。参加バンドは林栄—quartet、田中信正作戦失敗 trio、市野元彦 time flows quartet、酒井俊低音帯弱音、松井宏樹 gradate、寺井雄一 group、永武幹子 trio、望月慎一郎 trio、石川広行 lossless、山口廣和 voltex box、大村亘 TBT、ませひろこ quintet、森紀明 Large Ensemble、橋爪亮督 standard trio、藤原大輔 quiet bird、Kevin McHugh nariiki bigband、m'Fe など。参加 CD、田中信正 trio 「作戦失敗」「キティ組曲」望月慎一郎 trio 「visionaly」「another vision」永武幹子 trio 「collection1」小島のリ子「anytime」Kevin McHugh nariiki bigband 「next」コントラバスを通じた表現を日々研鑽、都内を中心に活動中。